

平成 28 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	サンフレンドうずら・児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市中鷯7丁目58番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	17,100,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:2,037.00㎡ ◇延床面積:676.81㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書室、集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場 ※障害者センターと合築で事務室ほか共用部分あり		

●利用状況

		H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	15,684	15,668	13,680	14,505	20,617
	移動児童館利用者数	874	955	766	825	919
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	19	17	18	14	16
	開館日数(単位:日)	151	157	151	156	151

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長及び常勤職員3人。(児童厚生員1人、保育士1人、体育指導員2人)。 ③「おたより」を毎月発行・配布、利用者パンフレットの作成・配布、児童館ホームページ、職員ブログの更新、ふりあネットの活用。 ④意見箱の常設。利用者アンケート(幼児の保護者及び小中高生向け)の実施と結果の掲示(情報開示の徹底)
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②おもちゃの消毒、玩具、遊具の毎月定期点検実施。 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等節水節電を実施。古紙、ダンボール、ペットボトルなどを事業に活用し、リユースに努めた。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練を1回実施。危機管理研修を1回実施。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>平成29年2月、3月 幼児クラブ参加者(保護者)183人にアンケート(無記名)を実施。 回答者数144人(回収率78.7%)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○児童センターを知ったきっかけ(上位) 友人 38人(26.4%)、ホームページ・ネット 36人(25.0%)、 家が近くて 13人(9.0%)、上の子のときから利用 12人(8.3%) 他</p> <p>○幼児クラブを知ったきっかけ(上位) センター内の張り紙をみて 45人(31.3%)、友人 30人(20.8%)、 ホームページ・ネット 19人(13.2%)、上の子のときから利用 17人(11.8%) 他</p> <p>○幼児クラブに参加して 大変満足 85人、満足 55人、普通 4人、やや不満 0人、不満 0人、未回答 0人</p> <p>○職員の対応について 大変満足 88人、満足 52人、普通 4人、やや不満 0人、不満 0人</p> <p>○定員について ちょうど良い 110人、少ない 15人、多い 7人、未回答 2人、</p> <p>○回数 毎週希望 43人、隔週希望 46人、未回答 55人</p> <p>○その他幼児クラブについての意見 とても楽しく参加することができました。ありがとうございました。 毎回いろいろ製作して楽しかった。からだを動かす遊びが増えるといいです。 とても楽しい思い出ができました。毎回子どもが楽しんで参加しています。 他</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対応・改善</p>	<p>要望 ⇒ 回答 児童センターについてお尋ねします。</p> <p>○おもちゃ図書館・幼児室のおもちゃについて おしっこを漏らしている子がいて、その時どう対応すればいいのかわからず、適当におしりふきで床を拭いてしまいました。消毒とかあるといいとおもいます。 ⇒ ご対応いただき、ありがとうございます。小さいお子さんが多く利用されるため、目の見えないところに消毒は設置しておりません。万が一同じようなことがあった場合は、お手数ですが職員までお知らせください。</p> <p>土日小学生が入ってくるのが多くあり、少し気になります。 ⇒ ご心配をおかけして申し訳ありません。普段から小学生には小さい子の部屋は利用できないことを伝えておりますが、まだ十分でないということだと思いますので、引き続き周知徹底を行ってまいります。</p> <p>2階のおもちゃ図書館の部屋から簡単にあけて脱走し、ホールで遊んでしまいます。何か対策があればと思います。 ⇒ ご意見については、入り口に柵を設ける等の方法が考えられますが、大きな荷物と小さなお子さんをつれて利用される方も多くみえますので、部屋に入るのが大変になってしまう等、他の諸問題も発生する可能性も出てくるかと思われます。好奇心が旺盛な年頃のお子さんをお連れの保護者の方につきまちは、どうかお子さんの成長をご理解いただき、お子さんと楽しい時間を過ごして頂くようご協力をお願いいたします。</p> <p>○センター内の設備について 2階のホールが寒かった。 ⇒ ご迷惑をお掛けして申し訳ありません。建物の構造上、ホールにエアコン等を設置することが難しく、ホールで遊ばれる方にはご迷惑をお掛けしております。エアコンがある部屋から暖かい空気が流れるような工夫はさせていただいておりますが、広いホールを暖かくできるほどではありません。申し訳ありませんが、状況に応じて暖かいお部屋で遊んでいただけるようご協力をお願いします。</p> <p>ホールの大きい窓からの日光が暑いです。 ⇒ 明るく遊べるように大きな窓を設置してあるのですが、その分ご意見のような弊害が出てしまい申し訳ありません。窓の位置が高いこともあり、光を遮ることも難しい現状ですので、申し訳ありませんがご理解とご協力をお願いします。</p> <p>○その他 手洗いの水が冷たい。 ⇒ 時期によってご迷惑をお掛けして申し訳ありません。蛇口をひねっていただいてから少しお待ちいただくと、幾分冷たさは軽減されると思いますので、何卒ご協力をお願いいたします。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	B	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>事業内容を工夫したり、事業数を増やすことで利用しやすい環境を整えた <input type="checkbox"/> 下半期 16,052人、一日平均107人の利用 <input type="checkbox"/> 児童向け事業47回 子育て支援事業129回 移動児童館22回 母親クラブ61回合計252回実施し、延べ8649人が参加した。 <input type="checkbox"/> 子育て支援事業を毎日行い、子育て環境の整備、子育ての不安軽減に努めた。 ・乳幼児(0歳、1、2、3歳児教室を10クラブで実施し、乳幼児及び保護者 延べ1887組3774人が参加 <input type="checkbox"/> 幼児と保護者の昼食の場所を確保(火曜日～金曜日 午後12時～13時 図書学習室) ・延べ135人が利用 地域の子育て力を上げる取組みを進めた <input type="checkbox"/> 移動児童館を積極的に進め公平な利用に努めた。22回実施 <input type="checkbox"/> 地域での母親クラブ活動61回実施 (読み聞かせ、人形劇等) 延べ3589人が参加 <input type="checkbox"/> 鶴地区の老人クラブおよび社会福祉協議会鶴支部とともに餅つき大会を実施した。150人が参加 <input type="checkbox"/> 若いボランティアの活動の場を提供し、次世代の地域の担い手育成に努めた。 ・母親クラブの委員、地域の大学生、社会人及び小中学生がボランティアとして各事業で協力し、うずらまつりでは、実行委員会を7回開催し、まつりを成功させた。 <input type="checkbox"/> 未就園児とその親を対象に月1回、サタデーモーニングフィーバーを実施した。 <input type="checkbox"/> 放課後子ども教室(鶴小、茜部小)に2回参加、協力した。 要支援児童への取組みを充実 <input type="checkbox"/> 要支援、要保護児童への取組みとして、支援と予防に努めた。 ・子ども、保護者からの相談8件(進路及び家庭問題等) <input type="checkbox"/> 要支援児童については、関係団体等とケース検討会を1回柳津ふれあい保健センターが開催し、情報交換を行った。 <input type="checkbox"/> 主任児童委員、小中学校、保護者等関係者、団体とネットワークが確立されており、情報の共有が可能。運営委員会を開催 <input type="checkbox"/> 運営委員会を1回開催し、鶴児童センターの利用状況、問題等報告し、今後の運営の在り方について議論した。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p><input type="checkbox"/> 利用者増のための工夫 ・幼児教室の内容を検討し、改善した。利用する小中学生と積極的に職員が声かけ、楽しむ行事を取り入れた。また、新しく食育としてお菓子づくり、料理教室を開催した。(前年度より約3,000人の利用増) <input type="checkbox"/> ボランティアと協力し、事業を展開・母親クラブ、保護者、社会人、大学生と小中高生等のボランティアの育成と協力 ・児童センター事業の充実と地域の子育て支援に貢献できるようボランティアの協力を得ながら、地域の自治会、老人クラブとともに事業を実施した。 <input type="checkbox"/> 要支援児童に対する取組み ・今年度、不登校及び引きこもりなど中高校生の相談がなかったが、子ども・若者支援センター、主任児童委員など関係団体の職員と、柳津ふれあい保健センターで連携会議に参加し、情報を共有した。 <input type="checkbox"/> 子どもからの意見、運営委員会の意見 利用している子どもに、上半期にアンケートをもとに要望等を把握し、運営委員会の席で意見をもらい、来年度から昼食をとることができるよう検討を開始した。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p><input type="checkbox"/> ボランティアと協力し、事業を展開していく。 ・母親クラブ、保護者、社会人、大学生と小中高生等のボランティアの育成と協力 児童センター事業の充実と地域の子育て支援に貢献できるようボランティアの協力を得ながら事業を実施する。 <input type="checkbox"/> 要支援児童に対する取組み ・不登校及び引きこもりなど中高校生の相談があるときは、子ども・若者支援センター、学校、主任児童委員など関係団体、職員と連携して、支援していく。 <input type="checkbox"/> 子どもからの意見、運営委員会の意見 ・運営委員会に諮ったところ、親の手作り弁当、障がい者センターとの交流等昼食をとることができるよう検討するようとの意見があり、実施できるよう準備を進める。 <input type="checkbox"/> 不審者対策 ・来所者につねに声をかけるよう心掛ける。 ・不審者対策の研修会議に参加し、危機管理に努める。 ・マニュアルを見直し、不審者対策の強化を行う。 <input type="checkbox"/> 交通事故予防対策 ・交通事故が児童センター近辺で発生していることから、帰宅時等車に注意するよう指導していく。</p>

●所管課の意見

<p>毎月の児童センターのおたよりを担当小学校の児童全員へ配布するほか、ホームページ、ブログの随時更新やぶりあネットを活用するなど広報活動を行っている。 今期利用者数(児童館担当地区の人口増減率で補正後)の実績は、対直近3年の平均比89.5%のため、「利用促進、利用者増の方策」についての評価をBとした。 乳幼児と保護者対象の登録制の幼児クラブを10クラブ実施するなど、子育て支援事業を毎日開催し、子育て環境整備、子育て不安軽減に努めた。また、新規事業として児童を対象にけん玉や一輪車など児童センター独自の検定試験を実施し、記録を伸ばすことで各人の意欲を盛り上げるチャレンジ企画を実施した。上記のことにより、来館者の実数としては前年度同期より大幅に増加している。 鶴地区の老人クラブ等とともに「うずらもちつき大会」を開催し、地域と連携・交流を深める事業を行った。児童センターが開催する「うずらまつり」においては、地域の大学生や社会人、小中学生がボランティアとして参加、活躍の場を提供することで育成に努めた。 職員体制や運営状況については、問題なく運営が行われている。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>「利用促進、利用者増の方策」について、利用者数は今期を過去3年間の平均と比較した場合減少しているが、平成27年度下半期と比べて利用者数が2千人増えており、努力がうかがえることからA評価とする。 「うずらもちつき大会」を地域の老人クラブと協働して開催したことは、高齢者と子どものふれあいや、地域の活性化にもつながるため、今後も継続していただきたい。 幼児クラブを10クラブと多数立ち上げていることについて、多くの親子の受け入れを可能とし、地域の子育て支援に貢献しているため評価したい。 管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
--